

国語

教 科	科 目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
国語	現代文演習	2	3年次・J2群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
ビジュアルカラー 国語便覧				3年次選択履修科目

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
現代社会が抱える多様な問題について、それぞれのジャンルのキーワードに関する論点を読み進めながら、多面的に物事をとらえ自己の考えを的確に伝えるための基礎力を身に付ける。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
現代社会の抱える多様な問題について深く理解するとともに、その解決に向けての取組を考えたり、議論したりすることのできる力を高める。	多様な問題についての論点を読み進めながら、多面的に物事をとらえ自己の考えを他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉だけでなく、表や図式への認識を深めることで、問題解決能力を向上させることで、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	1	小論文の基礎を学ぶ 作文用紙の使い方 要旨・要約	4	・毎時間、漢和辞典や国語辞典を活用して、分からない言葉の意味や用法を調べ、ノートにまとめる。	1 2 3 2 3 1 2
		2	キーワードに関する基礎知識を学ぶ 「国際」ジャンル 「政治・経済」ジャンル 「環境」ジャンル 「科学・技術」ジャンル	5 6 7	・文章の流れを図式で整理したものを参考にして、空欄に本文中の語を補充し、本文内容を理解する。 ・本文を百字程度で要約し、キーワードを補充して本文の要旨をまとめる学習をする。 ・常用漢字の読みと書き取りの力を身に付ける。	1 3 1 2 1 2
		3	意見文・小論文の書き方を学ぶ 作文の書き方 小論文の書き方 時事問題を知る	9 10	・毎時間、漢和辞典や国語辞典を活用して、分からない言葉の意味や用法を調べ、ノートにまとめる。	1 2 2 3
	2 学 期	4	キーワードに関する基礎知識を学ぶ 「情報・通信」ジャンル 「教育」ジャンル 「医療・健康」ジャンル 「福祉」ジャンル 「社会」ジャンル	11 12	・文章の流れを図式で整理したものを参考にして、空欄に本文中の語を補充し、本文内容を理解する。 ・本文を百字程度で要約し、キーワードを補充して本文の要旨をまとめる学習をする。 ・常用漢字の読みと書き取りの力を身に付ける。	1 2 1 3 1 2
	3 学 期	5	日本語・文章能力を身に付ける	1 2 3	・漢和辞典や国語辞典を使いこなし、語彙力をつける。	1 2 2 3 1 3

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

学 習 評 価	観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○定期考査等では、ジャンルごとの基礎的な知識の習得を問う問題と知識の概念的な理解を問う問題とのバランスを取りながら評価する。 ○課題や提出物の状況を評価に取り入れる。 ○実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けることを期し、技能もはかる多様な評価を目指す。	○定期考査等では、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力が身に付いているかははかることに注力する。 ○論述やレポート等、多彩な表現活動を評価に取り入れ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができているかははかる。	○観点別学習状況の評価を通してはかる。 ○ノートやレポート、提出物等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、生徒の自己評価等の状況も評価に当たって考慮する内容とする。
	手 段	・定期考査 ・小テスト ・提出物	・定期考査 ・授業中の活動 ・小テスト	・授業中の活動 ・提出物
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と学期末の評価を行い評価する。	
	学習上の留意点	・小テストの勉強や課題プリントなど、家庭学習をしっかりと授業に臨むこと。 ・ノートやレポートなど、提出物は期限を必ず守ること。		